

1. 法人の概要

(1) 基本情報

①法人の名称 学校法人 鳥取家政学園

②主たる事務所の住所 〒680-0022 鳥取県鳥取市西町一丁目 111 番地

電話番号 0857-22-8397 (代表) F A X 番号 0857-22-1357

U R L <http://t-ki.jp> mail [keiai-hs@t-ki.jp](mailto:keiai-hs@t-ki.jp)

(2) 建学の精神 (スクールミッション)

「人格の向上、徳の涵養に努め、自主的精神に富める心身の健やかな人を育成する」

(3) 学校法人の沿革

- 1905 (明治38) 年 5月 1日 「鳥取裁縫女学校」設立の認可
- 1911 (明治44) 年 3月 9日 「鳥取技藝女学校」と改称
- 1913 (大正 2) 年11月 鳥取市西町12番地 (現在地) に移転
- 1937 (昭和12) 年 4月 1日 「鳥取高等家政女学校」と改称
- 1941 (昭和16) 年 2月27日 4年課程の職業学校として認可
- 1944 (昭和19) 年 4月21日 「鳥取女子商業学校」と改称
- 1946 (昭和21) 年 3月31日 「鳥取高等家政女学校」にもどす
- 1948 (昭和23) 年 4月 1日 新制高等学校「鳥取家政高等学校」設立の認可
- 1951 (昭和26) 年 3月 学校法人鳥取家政学園への組織変更の認可
- 1963 (昭和38) 年 4月 1日 普通科の設置
- 1985 (昭和60) 年 4月 1日 「鳥取女子高等学校」と改称
- 1989 (平成元) 年 4月 1日 家政科を生活教養科に変更
- 2003 (平成15) 年 4月 1日 「鳥取敬愛高等学校」と改称 普通科の一部共学化
- 2013 (平成25) 年 4月 1日 普通科全コース男女共学化
- 2024 (令和 6) 年 3月31日 生活教養科閉科 全学科普通科へ

(4) 設置する学科・コース等

設置学科	設置コース	設置年度等	摘要
全日制 普通科	特別進学コース 2年次 理系 文系	平成30年4月～	男女共学
	特別進学コース 2年次選抜特進コース	令和 2年4月～ ～令和6年3月	
	総合進学コース 2年次 進学 総合	平成31年4月～ ～令和6年3月	
	進学キャリアコース 2年次 進学 キャリア	令和 4年4月～	
全日制 生活教養科	フードデザイン／保育コース ※令和5年度をもって閉科 (令和4年より募集停止)	平成25年4月～ ～令和6年3月	女子のみ

## (5) 学科等の生徒数の状況

(令和 5 年 5 月 1 日現在 単位：人)

学 科		設置コース	学則定員	募集定員	現員数
全日制 普通科	3年	特別進学コース	3 学年 各 1 6 0	8 0	2 7 ( 1 1 )
		選抜特進コース			
		進学コース			
	2年	総合コース	2 学年 2 0 0	8 0	5 3 6 6 3 1
		特別進学コース			
		進学コース			
	1年	キャリアコース	1 学年 2 0 0	8 0	3 1
		特別進学コース			
	全日制 生活教養科		進学キャリアコース	3 学年 4 0	4 0
フードデザインコース					
		3 学年合計	6 0 0	6 0 0	4 8 8

## (6) 入試状況と新入生の状況

(毎年度 5 月 1 日現在)

	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
特進入試 受験率	1222/2063 59.1%	1263/2166 58.3%	1256/2117 59.3%	1307/2012 64.9%	1313/1992 65.9%
一般入試 受験率	904/2063 43.8%	1005/2166 46.4%	1022/2117 48. %	989/2012 49.1%	1005/1992 50.4%
新入生数 入学率	153/2063 7.4%	163/2166 7.5%	190/2117 8.9%	160/2012 7.9%	159/1992 8.0%

## (7) 収容定員充足率

(毎年度 5 月 1 日現在)

	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
普通科	310/480 64.6%	332/480 69.2%	390/480 81.3%	429/520 82.5%	453/560 80.9%
生活教養科	83/120 69.2%	88/120 73.3%	104/120 86.7%	72/80 90.0%	35/40 87.5%
全 体	393/600 65.5%	420/600 70.0%	494/600 82.3%	501/600 83.5%	488/600 81.3%

## (8) 役員概要

(定数5~10名 令和5年5月1日現在)

区分	氏名	就任年月日	常勤・非常勤の別	主な現職等
理事長	野田 修	平成10年 4月 1日 理事 平成21年 4月 1日 理事長 平成25年10月23日 退任 同日 理事 平成27年 5月 1日 理事長	非常勤	鳥取県私学協会 会長
理事	上田 雅稔	平成26年10月30日 理事 同日 理事長職務代理者	非常勤	弁護士
理事	足立 利喜雄	平成21年10月 1日 理事 理事長職務代理者 平成25年10月23日 理事長 平成27年 4月30日 退任 同日 理事	非常勤	
理事	二階堂 茂夫	平成24年 4月 1日 理事	常勤	校長
理事	澤住 一彦	平成28年 4月 1日 理事	常勤	事務局長
理事	西井 肇	令和 2年 5月19日 理事	常勤	教頭
理事	川口 康子	令和 3年11月19日 理事	非常勤	

区分	氏名	就任年月日	常勤・非常勤の別	主な現職等
監事	米田 由起枝	平成26年11月10日 監事	非常勤	税理士
監事	木村 昭彦	令和元年 9月 1日 監事	非常勤	久松公民館長

## (9) 責任限定契約

私立学校法に従い、令和元年11月13日より責任限定契約を締結した。

川口康子理事については、令和3年11月19日締結。

## ・対象役員の氏名

非業務執行理事 足立利喜雄 川口康子

監事 木村昭彦 米田由起枝

## ・契約内容の概要

非業務執行理事及び監事はその職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときは、役員報酬に2を乗じて得た額、金384千円を限度として、損害賠償責任を負うものとする。

## (10) 補償契約

私立学校法に従い、令和3年4月22日より補償契約を締結した。

川口康子理事については、令和3年11月19日締結。

## &lt;対象役員の氏名&gt;

理事長 野田 修

理事 上田雅稔 足立利喜雄 川口康子 二階堂茂夫 西井 肇 澤住一彦

監事 木村昭彦 米田由起枝

上記役員の氏名で記載した全役員と契約を行った。

<補償契約の内容>

- ① 役員が、その職務の執行に関し、法令の規定に違反したことが疑われ、又は責任の追及に係る請求を受けたことに対処するために支出する費用の全額
- ② 役員が、その職務の執行に関し、第三者に生じた損害を賠償する責任を負う場合における次に掲げる損失
  - ・ 当該損害を役員が賠償することにより生ずる損失
  - ・ 当該損害の賠償に関する紛争について当事者間に和解が成立したときは、役員が当該和解に基づく金銭を支払うことにより生ずる損失

<補償の範囲>

次に掲げる費用等を補償することができない。

- ① 上記に掲げる費用のうち通常要する費用の額を超える部分
- ② 役員の学校法人に対する損害賠償責任を負う場合には、損失のうち当該責任に係る部分
- ③ 役員に悪意又は重大な過失があったことにより第三者に生じた損害を賠償する責任を負う場合には、その損失の全部

(11) 役員賠償責任保険制度への加入

私立学校法に従い、理事会決議により令和2年5月1日より役員賠償責任保険（D&O）に加入した。令和4年5月1日更新（令和4年4月20日理事会決議。）

- ① 契約先 損保ジャパンパートナーズ株式会社
- ② 被保険者 記名法人・・・学校法人鳥取家政学園  
個人被保険者・・・理事、監事

③ 補償内容

役員としての業務につき行った行為（不作為を含む。）に起因して、保険期間中に職員または第三者から損害賠償請求を提起された場合において、被保険者が損害賠償金・争訟費用を負担することによって被る損害  
損害賠償金（判決金額、和解金等）  
争訟費用（訴訟費用、和解・調停費用、弁護士に支払う着手金・報酬金、これらに付随する調査費用等）

- ④ 支払い対象とならない主な場合  
被保険者が私的な利益または便宜の供与を違法に得たこと等
- ⑤ 保険期間中総支払限度額  
3億円

(12) 評議員の概要

(定員数 12～23 名 令和 5 年 5 月 1 日現在)

氏名	主な現職等	氏名	主な現職等
倭島 慶吾	校長 理事	岸田加奈子	養護教諭
西井 肇	教頭 理事	山根 良夫	P T A 会長
澤住 一彦	事務局長 事務長 理事	有本 妙佳	P T A 3 年保護者

村上 静香	事務次長	川口 康子	理事
中川 順子	事務職員 卒業生	藤井 喜臣	鳥取県社会福祉協議会会長
岡本 澄子	同窓会会長	野田 修	理事長
二階堂 茂夫	前校長 校史資料担当	上田 雅稔	理事 弁護士
高垣まゆみ	教諭 卒業生	足立利喜雄	理事

(13) 教職員の概要

(令和5年5月1日現在 単位：人)

		校長	参事	副校長	教頭	教諭	養護教諭	常勤講師	非常勤講師	計
教員	本務	1			1	22	1	12		37
	兼務								14	14
		事務長	事務次長	事務職員	舎監事務職員	非常勤職員	課外講師	校医等	S C	
職員	本務	1	1	5	4					11
	兼務					1	4	4	1	10

(注) 平均年齢は、教員 43.2歳 職員 45.3歳である。(常勤以上で算出)

(14) その他 特に記載すべき事項なし

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

令和5年度の定員充足率は81.3% (488名) で、目標値80% (480名/600名) を達成することができた。そのうち新入生は159名で、目標値の160名に僅かに届かなかった。平成31年度から募集要項に公立高校の再募集受験の場合、本校入学を辞退していただく旨の一文を入れている中で入学手続き後、公立高校再募集に向かう新入生が1名あった。(前年度は0名) 新入生の定員充足率は79.5%である。

本年度の重点目標として、

- ① 生徒一人ひとりに応じた学習方法の丁寧な指導を実施し、生徒の希望する進路実現をサポートする。(学力の向上)
- ② グローバルシティズンシップ教育、ふるさとキャリア教育を推進し、コミュニケーションの中で相互理解を深め、生徒の「一歩を踏み出す勇気」を育てるとともに、主体的に行動する力を育てる。(チャレンジ精神の育成)
- ③ 社会のルール、マナーを守り、礼儀正しく人と接する力、より良い人間関係を構築する力を育成する。(基本的生活習慣の育成)
- ④ 生徒が主体的に取り組む学校行事や部活動への積極的な参加を促すとともに、機会をとらえて、生徒の自己肯定感を高める。(自己肯定感の醸成)
- ⑤ 全職員で一人一台PCの積極的活用を行い、ICTを利用して次項目を生徒に提供する。
  - ・個々の学力に適した教材(学力の向上)
  - ・郷土から世界までの学びの広がり(チャレンジ精神の育成)
  - ・ネット上のマナー、権利、義務について考えさせる(基本的生活習慣の育成)
  - ・自分の考えや意見を表現する(自己肯定感の醸成)

以上の5項目を掲げ、教育の質の向上をはかり、魅力ある学校づくりを推進してきた。

社会の変化にともない、人々の生き方も多様化している今日、自立した人づくりを具現化し、生徒の希望進路を実現するための体制確立を図るとともに、単に進学、就職するというだけでなく、その先の人生をより豊かに生きるためにも、自ら学ぼうとする意欲を育みたいと、教育の充実を図ってきた。当初488名でスタートしたが、10名の退学（1年5名 2年5名）、14名の転出（1年9名 2年4名 3年1名）、1名の転入（2年1名）があり、3月末日在籍者は465名となった。

本年度卒業生175名のうち 大学進学者50名、短大22名 専門・各種学校49名 就職者40名 その他は14名であった。国公立大学合格者は2名であった。また、就職希望者もそれぞれ県内外の優良企業の採用試験に合格し希望する職種へ就いた。

## (2) 主な事業の実施状況等

- 4/6（木） 入学式
- 4/14（金） 遠足 学年別学級対抗大縄跳び大会
- 4/22（土） PTA総会 土曜授業
- 4/28（金） 創立118周年記念式
- 5/12（金） 新体力テスト（布勢競技場）
- 5/27（土）～5/29（月）鳥取県高等学校総合体育大会
- 6/28（水） ふるさとキャリア塾①
- 7/13（木）～7/17（月）ジョン万次郎プロジェクト in タイ
- 7月～8月 全国高等学校総合体育大会（北海道大会）卓球 バドミントン 陸上ライフル射撃（広島）  
全国高等学校総合文化祭（鹿児島大会） 弁論 写真
- 9/5（火） 敬愛祭（体育祭 keiai sport night）夜開催 布勢陸上競技場
- 9/7（木）～9/8（金） 敬愛祭（文化祭）本校・とりぎん文化会館梨花ホール  
保護者の観覧数は過去最多（体育祭430名 文化祭250名）
- 11/7（火） 第52回鳥取県中学校優勝弁論大会
- 11/29（水） ふるさとキャリア塾②
- 12/8（金） 校内体育大会（鳥取産業体育館）
- 12/15（金）～12/16（土） ミニジョン万次郎プロジェクト in 広島
- 1月～2月 4回の入試を実施 1/5 特進入試 1/8 推薦入試 1/20 一般入試  
2/10 特色選抜入試
- 2/22（水）～2/23（木） 1年生氷ノ山宿泊スキー実習SKI（雪不足のため中止）
- 3/1（金） 卒業式
- 3/10（日）～3/10（水） GPK 韓国研修旅行
- 3/11（月）～3/15（金） GPS シンガポール研修旅行
- 3/14（火） 敬愛式TED（第1学年総合総探発表会）

### ① 教育プログラムの整備・充実

#### ・学力の向上

特進コースへの組織的学習指導体制 特進部 選抜特進クラスの取組  
勉強会 KSC 4/27.28 6/17 9/23 10/22 11/11 12/23～28

#### ・全コースについて進路指導計画の見直し（3年間の計画）

・グローバル教育の充実

海外高校生活とのオンライン交流

イタリア男子留学生受け入れ R4. 8. 23～R5. 7. 7 ミニヨーネ・ローランド

スイス女子留学生受け入れ R5. 8/23～R6. 7/19 フェミク・ジーマン

海外研修旅行およびジョン万次郎プロジェクト（シンガポール 韓国 タイ）

伝統文化理解教育 1年次 空手道 2年次 茶華道を履修

② 教育研究環境の整備

・教室に新しい生徒机・椅子を整備（3年計画の3年目 150セット）

・アリーナ大型スクリーン設置（R5～R7卒業記念品として3ヵ年計画）

・図書館蔵書検索システムにより県立図書館および市立図書との連携事業を開催するなど、学習活動、探究活動、課外活動、受験対策などに活用

③ 清香会（同窓会）について

10/11(水)常任委員会 11/ 5(日)総会・校祖墓参り 2/28(水)同窓会入会式 175名

④ 地域との連携について

・久松地区公民館やわらべ館のイベントなどへのボランティア参加

・ふるさとキャリア塾で地域の若者に協力してもらい講演を実施

・自治体(会)や地域施設との避難所提携契約を締結

H30～愛真幼稚園 R1～西町一丁目町内会 R2～鳥取市

・愛真幼稚園避難訓練で本校3階アリーナへ避難を実施（2/13木）

・バドミントン部が体育館使用している国府町成器地区との連携

・西町町内会資源回収協力

⑤ 令和6年度入試生徒募集の取り組み

・オープンスクールウイーク中学校毎の見学会 7/31（月）～8/4（金）669名（603名）

・進学相談会 ①10/6(金) ②10/7(土) ③10/13(金) ④10/13(金)

⑤11/18(土) ⑥12/2(土) 生徒30名・保護者35名（71名）

・入試対策講座 ①11/18(土) ②12/2（土） 223名（125名）

・保護者向け学校説明会（2年目の取組み）

①7/8(土) ②8/26(土) ③10/7(土) ④12/2(土) 94名(123名)

東部中学3年生が1850名（前年比150名減）という厳しい状況でも広報部を中心にオープンスクールウイークや入試対策講座などの募集イベントを実施し、参加総数は延べ986名と昨年922名を64名上回ることができた。

⑥ 令和6年度入試について（ ）内は前年度の数

・1月～2月 4回の入試を実施 受験者数のべ2,216名（前年2,361）

1/ 5 特別進学コース入学試験 1,175名(1,313名) 1/ 8 推薦入学試験 22名(14名)

1/20 一般入学試験 1,016名(1,005名) 2/10 特色選抜入試 4名(29名)

令和6年度入試は東部中学3年生が前年2000名から1850名と150名激減する中での厳しい入試となった。受験者総数は昨年比145名減の2216名、新入生は昨年比16名減の143名となり目標としていた150名に届かなかった。

近年定員割れが続く県立高校は生徒確保に向け推薦入試を廃止、中学校の推薦なしに生徒の希望で専願出願できる特色入試を導入、2月初旬に243名を確保した。中学校はこれまで以上に受験校を絞って出願させている。一方、本校は中学校の要望もあり、令和6年度入試より全入試web出願を導入し中学校側の入試業務を大幅に軽減させた。特進入試の出願は過去最多であった前年1313名から138名大幅減の1175名となった。東部地区生徒の出願率は63.4%とR3年から63%以上を維持している。また、一般入試受験者数は昨年比11名増の1016名、推薦入試は昨年比8名増の22名といずれも増加したが、特色選抜入試は昨年比25名減の4名であった。

⑦ 令和6年度に向けた計画等

- ・学力の向上と確かな進路保障
  - Googie class roomを活用した授業を実施
  - ベネッセ進路達成プログラムを継続実施
  - 外部模試、各種検定等の活用による数値目標の達成面談を通じた個々の進路目標の設定
- ・チャレンジ精神の育成と郷土理解
  - 探究活動実施に向けて全職員での取り組みの充実
  - ふるさとキャリア塾の充実
  - グローバル教育の推進
- ・基本的生活習慣および社会性の育成
  - 鳥取敬愛版ゼロトレランス指導を活かした生活習慣の改善
  - 「時を守り」「場を清め」「礼を正す」
- ・自己肯定感を高めるための主体的な特別教育活動
  - 主体的に学校行事に参加できる工夫
  - 部活動やボランティア等の所属率・参加率増加
- ・鳥取敬愛版GIGAスクール構想実現
  - ICT機器の日常的利用／教職員研修の充実
- ・教員の働き方改革
  - BLENDを導入し教員業務のDX推進とコミュニケーションツールとして活用

(3) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおり (単位 m<sup>2</sup> / 千円)

所在地	施設等	面積等	取得価額	帳簿価額	摘要
鳥取県鳥取市 西町1-111	校地	4,929.39	249,427	249,427	校舎は北校舎・新校舎 部室棟を含む
	校舎	6,006.43	1,870,556	1,222,836	
鳥取県鳥取市 寺町133-3	梅花寮土地	538.47	51,840	51,840	耐用年数を経過し各棟の 残存価額が1円のため
	建物	547.43	38,624	0	
鳥取県鳥取市 徳尾529-1	グラウンド	14,946.00	133,000	133,000	耐用年数を経過し建物の 残存価額が1円のため
	器具庫兼更衣室	108.50	19,413	0	

② 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況



特になし

(4) その他

特になし